

## 輸送動向について（2月分）

平成26年3月

### 1. 輸送概況

今月は、上旬及び中旬に太平洋側での記録的な大雪による輸送障害により、高速貨 402本、専貨 34本が運休となった。

荷動きについては、景気回復や円安、消費税増税前の需要の盛り上がりにより国内生産が好調に推移し、月全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、災害廃棄物の広域処理が進み専用列車の運転が終了したエコ関連物資が前年を大きく下回ったものの、消費税増税前の需要急増により出荷が好調となった食料工業品、化学工業品等が前年を大きく上回り、コンテナ貨物全体では前年比 106.3%となった。

車扱貨物は、石油が大雪による輸送障害により減送となった他、一部顧客が、昨年7月から山口線の一部区間が線路不通となっていることから減送となった。結果、車扱貨物全体では前年比 97.1%となった。

### 2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,706	1,605	106.3%	19,366	18,606	104.1%
車 扱	883	909	97.1%	8,534	8,642	98.8%

### 3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	151	152	-1	98.9%
	化学工業品	172	155	17	111.1%
	化学薬品	126	115	11	109.3%
	食料工業品	244	219	25	111.4%
	紙・パルプ	265	251	14	105.8%
	他工業品	129	130	-1	99.5%
	積合せ貨物	176	161	15	109.2%
	自動車部品	77	75	2	101.8%
	家電・情報機器	38	33	5	115.9%
	エコ関連物資	33	42	-9	76.5%
	その他	296	272	24	109.1%
	コンテナ計	1,706	1,605	101	106.3%
車 扱	石油	629	648	-19	97.2%
	セメント・石灰石	118	106	12	110.5%
	車 両	88	86	2	102.1%
	その他	48	69	-21	69.5%
	車 扱 計	883	909	-26	97.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）